

鵜養幸雄教授 略歴・主要著作目録

略歴

1955年3月19日 神奈川県生まれ

学歴

1979年3月 東京大学法学部（政治コース）卒業

1980年3月 東京大学法学部（私法コース）卒業

職歴

1983年12月～2010年3月 人事院事務総局職員

（この間、外務省3年、ILO2年、立命館大学3年の出向・派遣）

2005年4月～2014年3月 中央大学公共政策研究科（兼任講師・客員教授）

2007年4月～2019年3月 立命館大学公務研究科教授（3年間特別契約教授、後に専任）

2019年4月～2020年3月 立命館大学政策科学部教授

学内役職等

2009年4月～2013年3月 公務研究科副研究科長

2013年4月～2016年3月 同科研究科長

その他、西園寺塾コーディネーター、稲盛和夫経営哲学研究所研究員、霞塾学内アドバイザー、エクステンションセンター講師、大人の学び舎講師等

社会活動（歴任）

人事院公務員研修所客員教授、人事院事務総局の検討会委員

京都府参与（服務担当）、奈良県行財政改革有識者会議メンバー、寝屋川市特別職給与審議会（会長）、摂津市行政不服委員会委員（委員長）、堺市地域包括ケアシステム検討会委員、京丹後市人事評価制度アドバイザー、奈良市人事評価制度検討会その他の自治体の公務員関係の会議委員等、JICA 専門家（ベトナム社会主義共和国等に派遣）、全日本青年弁論大会審査員

（講演活動）

大都市人事委員会連合会研究会（さいたま市、横浜市、熊本市、浜松市、京都市、大阪市）、地区人事委員会・公平委員会連合会研究会（草津市、神戸市、奈良市、八代市、秦野市）、大津市議会局（職業としての政治、大森彌名誉教授との対談）、奈良県市町村長サミット、自然総研（トップマネジメントセミナー、スキルアップセミナー）、台湾公共政策学会（基調講演）、公務人材開発協会主催研究会（人事評価）、地域科学研究会（会計年度任用職員）等

(研修講師)

人事院公務員研修所（初任行政、フォローアップ研修、課長補佐級、課長級、係長級特別課程、課長補佐級特別課程において、リーダーシップ、古典に学ぶ、公務員倫理等）、人事院地方事務局（課長級研修等で、古典に学ぶ、リーダーシップ、公務員倫理等）、人事行政研究所の人事実務研修（サービス・懲戒、勤務時間等、非常勤職員、分限・懲戒・保障）、司法研修所（知的基盤研究会）、行政情報システム研究所（CIO 補佐官養成講座）、自治体向け個別研修（さいたまづくり広域連合、ふくしま自治研修センター、全国町村会、宮城県町村会、長崎県町村会、尼崎市、寝屋川市、摂津市、津市）、自然総研講師（芦屋市、尼崎市、和泉市、茨木市、門真市、堺市、吹田市、西宮市、摂津市、寝屋川市、東大阪市、枚方市、松原市、八尾市、北摂地区研修会等）、ぎょうせい（名取市、刈谷市、長泉町、坂祝町、松崎町等）、東京リーガルマインド（奈良市等）、JICA（チュニジア、中国、ベトナム等の公務員対象）、JICE（インドネシアその他のASEANN 諸国、中国等の公務員対象）PREX（ミャンマー等の公務員対象）等

著書

- ・『Q&A 非正規地方公務員の雇用実務』ぎょうせい 2015 年 11 月
- ・『自治体管理職のための人事評価書記載のポイント』ぎょうせい 2016 年 8 月
- ・『人事課のシゴト』（自治体の仕事シリーズ）ぎょうせい 2017 年 5 月
- ・『Q&A 地方公務員の分限処分、懲戒処分の実務』ぎょうせい 2017 年 12 月
- ・『Q&A 地方公務員の会計年度任用職員制度』ぎょうせい 2018 年 8 月

翻訳書

- ・『文官高等試験』創英社三省堂 2019 年 8 月

主な論文等

- ・「成績主義—公務員制度（改革）の中で」『立命館法學』（通号 325）2009（3）pp.719～763
- ・「「公務員」という言葉」（生田勝義・大河純夫教授退職記念論文集）『立命館法學』（通号 327・328）（上巻）（5・6）2009 pp.1546～1615
- ・「戦前の「高文」（文官高等試験）—果たした役割と残した課題」『人事試験研究』（213）2009-12 pp.3～14
- ・「昭和 10 年代の公務員制度改革論」『政策科学』17（2）（通号 43）2010-02 pp.1～13
- ・「政権交代下の地方官人事—戦前知事は「浮き草稼業」だったのか」『政策科学』18（1）（通号 45）2010-10 pp.1～23
- ・「官職という主題」『立命館法學』（通号 333・334）（上巻）（5・6）2010 pp.1600～1630
- ・「政権交代下の地方官人事：戦前知事は「浮き草稼業」だったのか」『政策科学』18（1）2010-10 pp.1-23

- ・「公務員の「身分保障」」『立命館法學』（通号 329）2010（1）pp.110～178
- ・「職階法へのレクイエム」『立命館法學』（通号 330）2010（2）pp.407～477
- ・「「公務研究科」の挑戦」（特集 立命館の大学院教育）『立命館高等教育研究』（11）2011-03 pp.29～39
- ・「「非正規」な公務員という存在」（村山皓教授退任記念論文集）『政策科学』19（3）（通号 50）2012-03 pp.197-224
- ・「「特別職」と政治的任用」『政策科学』20（2）（通号 53）2013-02 pp.13-24
- ・「条件付昇任期間：国家公務員制度の中の尾てい骨か？」『政策科学』21（1）（通号 54）2013-10 pp.1-14
- ・「公務員の昇給：理論と政策の狭間で」（見上崇洋教授退任記念論文集）『政策科学』21（4）（通号 57）2014-03 pp.33-47
- ・「「全体の奉仕者」ということば：ここに込められた、その時々さまざまな想い」『人事院月報』（800）2016-04 pp.8-11
- ・「「大江広元」という「公務員」：この国の「公務員」のひとつの「かたち」」『政策科学』24（2）（通号 66）2017-02 pp.59-64
- ・「公務員制度の中の服務規律という DNA」（山本隆司教授退任記念論文集）『政策科学』24（4）（通号 68）2017-03 pp.277-293
- ・「自治体職員に対する両立支援策の法制的系譜」『政策科学』25（1）（通号 69）2017-10 pp.187-197
- ・「公平制度の発明」『政策科学』25（2）（通号 70）2018-2 pp.187-197
- ・「人材育成と人事評価」『試験と研修』（41）2018-05 p.39-47
- ・「勤務条件条例の進化に向けて」『政策科学』26（1）（通号 72）2018-10 pp.165-174
- ・「公務員の「職員団体」制度（1）」『政策科学』26（2）（通号 73）2019-2 pp.117-129
- ・「公務員の「職員団体」制度（2）」『政策科学』27（1）（通号 74）2019-10 pp.79-88

